



たいへんだよ、もはらさん！
国保税の値上げについて、電話や
メールがたくさん来てますよ！

そうなんだ。だから今回の議会で
は、この問題について一般質問を
行ったんだよ。



9月議会での もはら の一般質問 ★提案型の一般質問で市民のための市政実現を！

国保加入世帯の負担を軽減するための対策について

●もはら●富岡市の国保財政は厳しい状況にあることから、今年度、国保税は大幅に値上げされました。しかし、全国の自治体の中には、富岡市同様、厳しい状況にありながらも、一般会計から国保会計へ税金を回すこと(これを『赤字補てんの法定外繰り入れ』といいます)で、国保加入者の負担軽減を図っているところも多数あると伺っております。

富岡市では現在、赤字補てんの法定外繰り入れを行っていませんが、全国的にはどのくらいの自治体が行っているのでしょうか。また、6月議会で市長から『国保事業は独立採算が原則』とのお話でしたが、国保税の大幅値上げに対し、市民の方々から厳しいご意見が数多く聞こえてくる現在も『独立採算の原則』を重視するお考えに変化はないのでしょうか。

★市長★平成17年度の県内12市の状況では、一般会計から国保会計へ赤字補てんの理由で繰り入れを行ったのは、伊勢崎市・渋川市・藤岡市・安中市・みどり市の5市である。また、国民健康保険制度は相互扶助の考え方のもと、加入者がお互いに費用を負担しあい、独立して経理を行うものである。独立採算を基本とする制度という認識は現時点でも変わらない。

●もはら●国保の加入者は、自営業の方や、高齢者の方が中心です。また、会社に勤めていた方も会社を辞めて無職になれば国保に加入することになります。このことを考えますと、企業や公務員の保険組合加入者と比べると、経済的に余裕がない方が圧倒的であると思います。『相互扶助』とはいえ、経済的基盤が弱い方が多数を占める国保加入者だけで「お互いに費用を負担してください」というのは、かなり酷なのではないでしょうか。

国保基金がゼロになってしまったのですから、今回の国保税の値上げは避けては通れません。しかし、日々の生活で、余裕がない精一杯の暮らしを余儀なくされている方にとっては、34.7%の値上げは許容できる範囲を遥かに超えていたと考えざるを得ません。行政側の都合で7年間値上げしなかった分を今年一気に値上げした訳ですが、『加入者の負担を減らすため、繰り入れを行う自治体もたくさんある現状』を考慮すれば、加入者に対し、もう少し別の対応をすべきだったと私は思います。

ここで再度お尋ねしますが、富岡市の国保加入者一人当たりの医療費と、富岡市の国保税納付率は県内12市の中で、どのような状況なのでしょう。

★市長★平成17年度の富岡市国保加入者一人当たりの医療費は30万6584円で県内12市の中では最も低い金額である。また、国保税の納付率は93.75%で県内12市の中では最も高い。

●●●もはらの結論●●●

富岡市の国保加入者は『県内12市中、一人当たりの医療費は最低で、国保税の納付率は最高』ですから、『富岡市の国保加入者は最も模範的』と言えましょう。したがって理論的には『富岡市の国保税は県内12市で最低』になるはずですが、しかしながら、実際の国保税の水準を見ると、現在の富岡市の国保税は12市中で高い方から7番目に位置しています。このような事態が生じたのは34.7%の大幅な値上げが原因ですが、そもそも34.7%という数字が妥当なのか、私は疑問を抱かずにはいられません。

また、県内12市の中で、富岡市と同じような規模の『人口10万人以下の市』は7市ありますが、このうちの半数以上にあたる4市(渋川市・藤岡市・安中市・みどり市)で国保会計への財政的な配慮を行っています。このような状況を考えると『あくまでも独立採算の原則を重視する』という当局の姿勢は、『最も模範的な富岡市の国保加入者』に対し、『あまりにも酷である』と私は感じます。国保加入者の方々が現在直面している問題を考えれば、『当局は独立採算の原則にこだわることなく、負担軽減のための何らかの対策を示すべきである』と私は考えます。

県内12市の中で富岡市の国保加入者は、一人当たりの医療費が最も低く、しかも一番まじめに国保税を納めています。ならば、「12市の中で国保税が一番安くてもいいはず」と私は考えますが、みなさんはいかがでしょう？



ジェネリック医薬品をご存知ですか？

ジェネリック医薬品とは、新薬の特許が切れた後に厚生労働省の許可を得て発売される薬のことです。安全性・有効性が確立されていて、しかも経済的な薬です。

毎日何種類もの薬を飲まれている方ならば、ジェネリック医薬品に変更することで薬代が安くなる場合もありますので、お医者さんに相談なさってはいかがでしょうか？『相談するのはちょっと…』という皆さんには、『ジェネリック医薬品お願いカード』(写真左)を使ってみる方法もあります。日本ジェネリック研究会からお預かりしている無料のカードがございますので、ご希望の方は「もはら」までご連絡ください。



ジェネリック医薬品の名前はテレビのCMで聞いたことがあるけど、どんな薬なのかは知らなかったなあ。

ジェネリック医薬品を上手に使用すれば、薬代の自己負担を減らしたり、富岡市国民健康保険の医療費削減にもなるんだよ。

